

記載例（法第28条第1項関係）

平成22年度 事業報告書

平成23年4月27日

特定非営利活動法人メックス
代表理事 鈴木壽

1 事業の成果

法人設立6年目の平成22年度は、正規会員賛助会員数を24名と前年を保った。

「保健、医療または福祉の増進を図る活動」では、日本国内の病院などとの提携を再構築し来年度の事業の発展につなぐ。「学術、文化、芸術またはスポーツの振興をはかる活動」では、女性のレジスタンストレーニング方法の開発を企画した。「災害救援活動」では会員の募集と、サポートするボランティア・スタッフの確保を計ると、また、東北関東大震災で宮城県柴田郡柴田町を中心に行なった。「国際協力の活動」は、活動は行わざ引き続き来年度の課題とする。

その他事業としての「スポーツやトレーニングの開発と講習活動事業」事業については、各公的団体等と提携業務に向けて協議を行い来年度の課題とした。「主として東南アジア諸国の医療事業者等が日本における医療研修に参加する際の支援サポート」では東南アジアのタイ国にてタイの医療機関との交流会および処方薬の販売の現地調査を行った。「市民農園および農林等の管理運営事業」事業については、活動を縮小し、また営利事業活動は行わずに来年度の課題とした。「災害時における救助ボランティア」事業については、年度末の東北関東大震災で活動を行い今後も継続して行う。それ以外の事業は来年に向けての課題とした。

2 事業の実施に関する事項（平成22年4月1日～平成23年3月31日）

(1) 特定非営利活動に係る事業

| 定款の事業名 | 事業内容 | 実施日時 | 実施場所 | 従事者の人数 | 受益対象者の範囲 | 人数 | 支出額（千円） |
|--|---------------------------------------|--------|----------|--------|---------------|-----|---------|
| スポーツやトレーニングの開発と講習活動事業 | 講習会開催への協議 | 6月、12月 | 吉川市、越谷市等 | 2名 | 埼玉県民ほか | 0名 | 20 |
| 主として東南アジア諸国の医療事業者等が日本における医療研修に参加する際の支援サポート事業 | 東南アジアのタイ国にてタイの医療機関との交流会および処方薬の販売の現地調査 | 1月 | タイ国 | 1名 | タイ人医療および薬学従事者 | 4名 | 70 |
| 災害時における救助ボランティア事業 | 東北関東大震災サポートプログラム | 3月 | 宮城県 | 2名 | 宮城県民ほか | 100 | 50 |

記載例（法第28条第1項関係）

平成22年度

特定非営利活動に係る事業

会計 財産目録

平成23年3月31日現在

特定非営利活動法人メックス

単位：円

| 科 目 | 数量 | 金額 | |
|------------|----|--------|--------|
| I 資産の部 | | | |
| 1 流動資産 | | | |
| 現金 現金手許預かり | | 580000 | |
| 流動資産合計 | | 580000 | |
| 2 固定資産 | | | |
| 敷金 | | 0 | |
| 器具・備品 | | 0 | |
| 車両 | | 0 | |
| 電話加入権 | | 0 | |
| 固定資産合計 | | 0 | |
| 資産合計 | | | 580000 |
| II 負債の部 | | | |
| 1 流動負債 | | | |
| 短期借入金 | | 0 | |
| 流動負債合計 | | 0 | |
| 2 固定負債 | | | |
| 長期借入金 | | 420000 | |
| 固定負債合計 | | 420000 | |
| 負債合計 | | | 420000 |
| 正味財産 | | | 160000 |

(備考)

- 1 用紙の大きさは、日本工業規格A4とすること。
- 2 □の部分には、その他の事業を行う場合にあっては、「その他の事業」と記載し、事業毎に区分してそれぞれ別葉に作成すること。

記載例（法第28条第1項関係）

平成22年度

特定非営利活動に係る事業

会計 貸借対照表

平成23年3月31日現在

特定非営利活動法人メックス

単位：円

| 科 目 | 数量 | 金額 | |
|----------------|----|--------|--------|
| I 資産の部 | | | |
| 1 流動資産 | | | |
| 現金 現金手許預かり | | 580000 | |
| 流動資産合計 | | 580000 | |
| 2 固定資産 | | | |
| 敷金 | | 0 | |
| 器具・備品 | | 0 | |
| 車両 | | 0 | |
| 電話加入権 | | 0 | |
| 固定資産合計 | | 0 | |
| 資産合計 | | | 580000 |
| II 負債の部 | | | |
| 1 流動負債 | | | |
| 短期借入金 | | 0 | |
| 流動負債合計 | | 0 | |
| 2 固定負債 | | | |
| 固定負債合計 | | 420000 | |
| 負債合計 | | 420000 | 420000 |
| III 正味財産の部 | | | |
| 前期繰越正味財産 | | | |
| 当期正味財産増加額（減少額） | | 160000 | |
| 正味財産合計 | | 0 | 160000 |

(備考)

- 1 用紙の大きさは、日本工業規格A4とすること。
- 2 □の部分には、その他の事業を行う場合にあっては、「その他の事業」と記載し、事業毎に区分してそれぞれ別葉に作成すること。

平成22年度

特定非営利活動に係る事業

会計 収支計算書

平成23年3月31日現在

特定非営利活動法人メックス

単位：円

| 科目 | 金額 | |
|---|--------|---------|
| I 収入の部 | | |
| 1 会費、入会金収入 | 140000 | |
| 正会員会費（14名分） | 100000 | 240000 |
| 賛助会員会費（10名分） | | |
| 2 事業収入 | 0 | |
| スポーツやトレーニングの開発と講習活動事業 | 0 | |
| 市民農園および農林等の管理運営事業 | 0 | |
| 主として東南アジア諸国医療事業者等が日本における医療研修に参加する際の支援サポート事業 | 0 | |
| 災害時における救助ボランティア事業 | 0 | 0 |
| 3 補助金等収入 | 0 | 0 |
| 4 寄付金収入 | 200000 | 200000 |
| 5 借入金収入 | | |
| 短期借入金 | 50000 | 50000 |
| 6 その他の事業からの繰入金収入 | | |
| 繰入金 | 0 | 0 |
| 当期収入合計（A） | | 490000 |
| 前期繰越収支差額 | | 440000 |
| 収入合計（B） | | 930000 |
| II 支出の部 | | |
| 1 事業費 | | |
| スポーツやトレーニングの開発と講習活動事業 | 20000 | |
| 主として東南アジア諸国医療事業者等が日本における医療研修に参加する際の支援サポート事業 | 70000 | |
| 災害時における救助ボランティア事業 | 250000 | 340000 |
| 2 管理費 | | |
| 事務職員給与（0名） | 0 | |
| 福利厚生費 | 0 | |
| 旅費交通費 | 0 | |
| 事務用消耗品費 | 0 | |
| 通信運搬費 | 0 | |
| 賃料費 | 120000 | |
| 租税公課 | 0 | 120000 |
| 3 固定資産取得費 | | |
| 器具・備品購入支出 | 320000 | 320000 |
| 4 借入金返済 | | |
| 借入金返済 | 0 | 0 |
| 当期支出合計（C） | | 780000 |
| 当期収支差額（A） - （C） | | -290000 |
| 次期繰越収支差額（B） - （C） | | 150000 |

(備考)

- 1 用紙の大きさは、日本工業規格A4とすること。
- 2 □の部分には、他の事業を行う場合にあっては、「他の事業」と記載し、事業毎に区分してそれぞれ別葉に作成すること。
- 3 他の事業を行う場合は、他の事業会計収支計算書及び特定非営利活動に係る会計収支計算書について、他の事業から特定非営利活動に係る事業会計への繰り入れが明らかになるような科目を追加し、経理すること。